

タイトル(書名)	章:節 聖句 聖句 〔検索対象総数：200 / 聖句等の総数 33250 〈ヤコブ〉238個〕 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) 〔検索語彙：ヤコブ〕
創世記	25:26 その後で弟が出てきたが、その手がエサウのかかと(アケブ)をつかんでいたの、ヤコブと名付けた。リベカが二人を産んだとき、イサクは六十歳であった。
創世記	25:27 二人の子供は成長して、エサウは巧みな狩人で野の人となったが、ヤコブは穏やかな人で天幕の周りで働くのを常とした。
創世記	25:28 イサクはエサウを愛した。狩りの獲物が好物だったからである。しかし、リベカはヤコブを愛した。
創世記	25:29 ある日のこと、ヤコブが煮物をしていると、エサウが煮物をしていて、エサウが疲れきって野原から帰って来た。
創世記	25:30 エサウはヤコブに言った。「お願いだ、その赤いもの(アダム)、その赤いものを食べさせてほしい。わたしは疲れきっているんだ。」彼が名をエドムとも呼ばれたのはこのためである。
創世記	25:31 ヤコブは言った。「まず、お兄さんの長子の権利を譲ってください。」
創世記	25:33 ヤコブは言った。「では、今すぐ誓ってください。」エサウは誓い、長子の権利をヤコブに譲ってしまった。
創世記	25:34 ヤコブはエサウにパンとレンズ豆の煮物を与えた。エサウは飲み食いしたあげく立ち、去って行った。こうしてエサウは、長子の権利を軽んじた。
創世記	27:6 リベカは息子のヤコブに言った。「今、お父さんが兄さんのエサウにこう言っているのを耳にしました。
創世記	27:11 しかし、ヤコブは母リベカに言った。「でも、エサウ兄さんはとても毛深いのに、わたしの肌は滑らかです。
創世記	27:14 ヤコブは取りに行き、母のところに持って来てしたので、母は父の好きなおいしい料理を作った。
創世記	27:15 リベカは、家にしまっておいた上の息子エサウの晴れ着を取り出して、下の息子ヤコブに着せ、
創世記	27:17 自分が作ったおいしい料理とパンを息子ヤコブに渡した。
創世記	27:18 ヤコブは、父のもとへ行き、「わたしのお父さん」と呼びかけた。父が、「ここにいる。わたしの子よ。誰だ、お前は」と尋ねると、
創世記	27:19 ヤコブは言った。「長男のエサウです。お父さんの言われたとおりにしてきました。さあ、どうぞ起きて、座ってわたしの獲物を召し上がり、お父さん自身の祝福をわたしに与えてください。」
創世記	27:20 「わたしの子よ、どうしてまた、こんなに早くしとめられたのか」と、イサクが息子に尋ねると、ヤコブは答えた。「あなたの神、主がわたしのために計らってくださいましたからです。」
創世記	27:21 イサクはヤコブに言った。「近寄りなさい。わたしの子に触って、本当にお前が息子のエサウかどうか、確かめたい。」
創世記	27:22 ヤコブが父イサクに近寄ると、イサクは彼に触りながら言った。「声はヤコブの声だが、腕はエサウの腕だ。」
創世記	27:23 イサクは、ヤコブの腕が兄エサウの腕のように毛深くなっていたので、見破ることができなかった。そこで、彼は祝福しようとして、
創世記	27:24 言った。「お前は本当にわたしの子エサウなのだな。」ヤコブは、「もちろんです」と答えた。
創世記	27:25 イサクは言った。「では、お前の獲物をここへ持って来なさい。それを食べて、わたし自身の祝福をお前に与えよう。」ヤコブが料理を差し出すと、イサクは食べ、ぶどう酒をつぐと、それを飲んだ。

タイトル(書名)	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：ヤコブ] 章:節 聖句 [検索対象総数：200 / 聖句等の総数 33250 <ヤコブ>238個]
創世記	27:27 ヤコブが近寄って口づけをすると、イサクは、ヤコブの着物の匂いをかいで、祝福して言った。「ああ、わたしの子の香りは、主が祝福された野の香りのようだ。」
創世記	27:30 イサクがヤコブを祝福し終えて、ヤコブが父イサクの前から立ち去るとすぐ、兄エサウが狩りから帰って来た。
創世記	27:36 エサウは叫んだ。「彼をヤコブとは、よくも名付けたものだ。これで二度も、わたしの足を引っ張り(アーカブ)欺いた。あのときはわたしの長子の権利を奪い、今度はわたしの祝福を奪ってしまった。」エサウは續けて言った。「お父さんは、わたしのために祝福を残しておいてくれなかったのですか。」
創世記	27:41 エサウは、父がヤコブを祝福したことを根に持って、ヤコブを憎むようになった。そして、心の中で言った。「父の喪の日も遠くない。そのときがきたら、必ず弟のヤコブを殺してやる。」
創世記	27:42 ところが、上の息子エサウのこの言葉が母リベカの耳に入った。彼女は人をやって、下の息子のヤコブを呼び寄せて言った。「大変です。エサウ兄さんがお前を殺して恨みを晴らそうとしています。」
創世記	27:46 リベカはイサクに言った。「わたしは、ハト人の娘たちの中で、生きているのが嫌になりました。もしヤコブまでも、この土地の娘の中からあんなハト人の娘をとったら、わたしは生きているかいません。」
創世記	28:1 イサクはヤコブを呼び寄せて祝福して、命じた。「お前はカナンの娘の中から妻を迎えてはいけない。」
創世記	28:5 ヤコブはイサクに送り出されて、パダン・アラムのラバンの所へ旅立った。ラバンはアラム人ベトエルの息子で、ヤコブとエサウの母リベカの兄であった。
創世記	28:6 エサウは、イサクがヤコブを祝福し、パダン・アラムへ送り出し、そこから妻を迎えさせようとしたこと、しかも彼を祝福したとき、「カナンの娘の中から妻を迎えてはいけない」と命じたこと、
創世記	28:7 そして、ヤコブが父と母の命令に従ってパダン・アラムへ旅立ったことなどを知った。
創世記	28:10 ヤコブはベエル・シェバを立ててハラシへ向かった。
創世記	28:11 とある場所に来たとき、日が沈んだので、そこで一夜を過ごすことにした。ヤコブはその場所にあった石を一つ取って枕にして、その場所に横たわった。
創世記	28:16 ヤコブは眠りから覚めて言った。「まことに主がこの場所におられるのに、わたしは知らなかった。」
創世記	28:18 ヤコブは次の朝早く起きて、枕にしていた石を取り、それを記念碑として立て、先端に油を注いで、
創世記	28:20 ヤコブはまた、誓願を立てて言った。「神がわたしと共におられ、わたしが歩むこの旅路を守り、食べ物、着る物を与え、
創世記	29:1 ヤコブは旅を續けて、東方の人々の土地へ行った。
創世記	29:4 ヤコブはそこにいた人たちに尋ねた。「皆さんはどちらの方ですか。」「わたしたちはハラシの者です」と答えたので、
創世記	29:5 ヤコブは尋ねた。「では、ナホルの息子のラバンを知っていますか。」「ええ、知っています」と彼らが答えたので、
創世記	29:6 ヤコブは更に尋ねた。「元気でしょうか。」「元気です。もうすぐ、娘のラケルも羊の群れを連れてやって来ます」と彼らは答えた。
創世記	29:7 ヤコブは言った。「まだこんなに日は高いし、家畜を集める時でもない。羊に水を飲ませて、もう一度草を食べさせに行ったらどうですか。」
創世記	29:9 ヤコブが彼らと話しているうちに、ラケルが父の羊の群れを連れてやって来た。彼女も羊を飼っていたからである。

タイトル(書名)	章:節 聖句 〔検索対象総数：200 / 聖句等の総数 33250 〈ヤコブ〉238個〕 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) 〔検索語彙：ヤコブ〕
創世記	29:10 ヤコブは、伯父ラバンの娘ラケルと伯父ラバンの羊の群れを見るとすぐに、井戸の口へ近寄り石を転がして、伯父ラバンの羊に水を飲ませた。
創世記	29:11 ヤコブはラケルに口づけし、声をあげて泣いた。
創世記	29:12 ヤコブはやがて、ラケルに、自分が彼女の父の甥に当たり、リベカの息子であることを打ち明けた。ラケルは走って行って、父に知らせた。
創世記	29:13 ラバンは、妹の息子ヤコブの事を聞くと、走って迎えに行き、ヤコブを抱き締め口づけした。それから、ヤコブを自分の家に案内した。ヤコブがラバンに事の次第をすべて話すと、
創世記	29:14 ヤコブがラバンのもとにひと月ほど滞在したある日、
創世記	29:15 ラバンはヤコブに言った。「お前は身内の者だからといって、ただで働くことはない。どんな報酬が欲しいか言ってみなさい。」
創世記	29:18 ヤコブはラケルを愛していたので、「下の娘のラケルをくださるなら、わたしは七年間あなたの所で働きまゝす」と言った。
創世記	29:20 ヤコブはラケルのために七年間働いたが、彼女を愛していたので、それはほんの数日のように思われた。
創世記	29:21 ヤコブはラバンに言った。「約束の年月が満ちましたから、わたしのいいなづけと一緒にならせてください。」
創世記	29:23 夜になると、娘のレアをヤコブのもとに連れて行ったので、ヤコブは彼女のところに入った。
創世記	29:25 ところが、朝になってみると、それはレアであった。ヤコブがラバンに、「どうしてこんなことをなされたのですか。わたしがあなたのもとで働いたのは、ラケルのためではありませんか。なぜ、わたしをだましたのですか」と言う
創世記	29:28 ヤコブが、言われたとおりの一週間の婚礼の祝いを済ませると、ラバンは下の娘のラケルもヤコブに妻として与えた。
創世記	29:30 こうして、ヤコブはラケルをめとった。ヤコブはレアよりもラケルを愛した。そして、更にもう七年ラバンのもとで働いた。
創世記	30:1 ラケルは、ヤコブとの間に子供ができないことが分かると、姉をねたまむようになり、ヤコブに向かって、「わたしにもぜひ子供を与えてください。与えてくださらなければ、わたしは死にます」と言った。
創世記	30:2 ヤコブは激しく怒って、言った。「わたしが神に代われると言うのか。お前の胎に子供を宿らせないのは神御自身なのだ。」
創世記	30:4 ラケルはヤコブに召し使いビルハを側女として与えたので、ヤコブは彼女のところに入った。
創世記	30:5 やがて、ビルハは身ごもってヤコブとの間に男の子を産んだ。
創世記	30:7 ラケルの召し使いビルハはまた身ごもって、ヤコブとの間に二人目の男の子を産んだ。
創世記	30:9 レアも自分に子供ができなくなったのを知ると、自分の召し使いビルパをヤコブに側女として与えたので、
創世記	30:10 レアの召し使いビルパはヤコブとの間に男の子を産んだ。
創世記	30:12 レアの召し使いビルパはヤコブとの間に二人目の男の子を産んだ。

タイトル(書名)	章:節 聖句 聖句 〔検索対象総数：200 / 聖句等の総数 33250 〈ヤコブ〉238個〕 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) 〔検索語彙：ヤコブ〕
創世記	30:16 夕方になり、ヤコブが野原から帰って来ると、レアは出迎えて言った。「あなたはわたしのところに来なければなりません。わたしは、息子の恋なすびであなたを雇ったのですから。」その夜、ヤコブはレアと寝た。
創世記	30:17 神がレアの願いを聞き入れられたので、レアは身ごもってヤコブとの間に五人目の男の子を産んだ。
創世記	30:19 レアはまた身ごもって、ヤコブとの間に六人目の男の子を産んだ。
創世記	30:25 ラケルがヨセフを産んだころ、ヤコブはラバンに言った。「わたしを独り立ちさせて、生まれ故郷へ帰らせてください。
創世記	30:29 ヤコブは言った。「わたしがどんなにあなたのために尽くし、家畜の世話をしてきたかよくご存じのはずです。
創世記	30:31 「何をお前に支払えばよいのか」とラバンが尋ねると、ヤコブは答えた。「何もくださるには及びません。ただこういう条件なら、もう一度あなたの群れを飼い、世話をいたしましょう。
創世記	30:36 ヤコブがラバンの残りの群れを飼っている間に、自分とヤコブとの間に歩いて三日かかるほどの距離をおいた。
創世記	30:37 ヤコブは、ポプラとアーモンドとブラタナスの木の若枝を取って来て、皮をはぎ、枝に白い木肌の縞を作り、
創世記	30:40 また、ヤコブは羊を二手に分けて、一方の群れをラバンの群れの中の縞のものど全体が黒みがかったものに向かわせた。彼は、自分の群れだけにはそうしたが、ラバンの群れにはそうしなかった。
創世記	30:41 また、丈夫な羊が交尾する時期になると、ヤコブは皮をはいた枝をいつも水ぶがねの中に入れて群れの前に置き、枝のそばで交尾させたが、
創世記	30:42 弱い羊のときには枝を置かなかった。そこで、弱いのはラバンのものとなり、丈夫なのはヤコブのものとなった。
創世記	30:43 こうして、ヤコブはますます豊かになり、多くの家畜や男女の奴隷、それにらくだやろばなどを持つようになった。
創世記	31:1 ヤコブは、ラバンの息子たちが、「ヤコブは我々の父のものを全部奪ってしまった。父のものをごまかして、あの富を築き上げたのだ」と言っているのを耳にした。
創世記	31:3 主はヤコブに言われた。「あなたは、あなたの故郷である先祖の土地に帰りなさい。わたしはあなたと共にいる。」
創世記	31:4 ヤコブは人をやって、ラケルとレアを家畜の群れがいる野原に呼び寄せて、
創世記	31:11 そのとき、夢の中で神の御使いが、『ヤコブよ』と言われたので、『はい』と答えると、
創世記	31:14 ラケルとレアはヤコブに答えた。「父の家に、わたしたちへの嗣業の割り当て分がまだあるでしょうか。
創世記	31:17 ヤコブは直ちに、子供たちと妻たちをらくだに乗せ、
創世記	31:20 ヤコブもアラム人ラバンを欺いて、自分が逃げ去ることを悟られないようにした。
創世記	31:21 ヤコブはこうして、すべての財産を持って逃げ出し、川を渡りギレアドの山地へ向かった。
創世記	31:22 ヤコブが逃げたことがラバンに知れたのは、三日目であった。

タイトル(書名)	章:節 聖句 聖句 〔検索対象総数：200 / 聖句等の総数 33250 〈ヤコブ〉238個〕 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) 〔検索語彙：ヤコブ〕
創世記	31:23 ラバンは一族を率いて、七日の道のりを追いかけて行き、ギレアドの山地でヤコブに追いついたが、
創世記	31:24 その夜夢の中で神は、アラム人ラバンのもとに来て言われた。「ヤコブを一切非難せぬよう、よく心に留めておきなさい。」
創世記	31:25 ラバンがヤコブに追いついたとき、ヤコブは山の上に天幕を張っていたので、ラバンも一族と共にギレアドの山に天幕を張った。
創世記	31:26 ラバンはヤコブに言った。「一体何ということをしたのか。わたしを欺き、しかも娘たちを戦争の捕虜のように駆り立てて行くとは。」
創世記	31:29 わたしはお前たちをひどい目に遭わせることもできるが、タベ、お前たちの父の神が、『ヤコブを一切非難せぬよう、よく心に留めておきなさい』とわたしにお告げになった。
創世記	31:31 ヤコブはラバンに答えた。「わたしは、あなたが娘たちをわたしから奪い取るのではないかと思って恐れただけです。」
創世記	31:32 もし、あなたの守り神がだれかのところで見つかれば、その者を生かしてはおきません。我々一同の前で、わたしのところにあなたのものがあるかどうか調べて、取り戻してください。」ヤコブは、ラケルがそれを盗んでいたことを知らなかったのである。
創世記	31:33 そこで、ラバンはヤコブの天幕に入り、更にレアの天幕や二人の召し使いの天幕にも入って捜してみたが、見つからなかった。ラバンがレアの天幕を出てラケルの天幕に入ると、
創世記	31:36 ヤコブは怒ってラバンを責め、言い返した。「わたしに何の背反、何の罪があって、わたしの後を追って来られたのですか。」
創世記	31:43 ラバンは、ヤコブに答えた。「この娘たちはわたしの娘だ。この孫たちもわたしの孫だ。この家畜の群れもわたしの群れ、いや、お前の目の前にあるものはみなわたしのものだ。しかし、娘たちや娘たちが雇った孫たちのために、もはや、手出しをしようとは思わない。」
創世記	31:45 ヤコブは一つの石を取り、それを記念碑として立て、
創世記	31:47 ラバンはそれをエガル・サハドタと呼び、ヤコブはガルエドと呼んだ。
創世記	31:51 ラバンは更に、ヤコブに言った。「ここに石塚がある。またここに、わたしがお前との間に立てた記念碑がある。」
創世記	31:53 どうか、アブラハムの神とナホルの神、彼らの先祖の神が我々の間を正しく裁いてくださいますように。』ヤコブも、父イサクの畏れ敬う方にかけて誓った。
創世記	31:54 ヤコブは山の上でいけにえをささげ、一族を招いて食事を共にした。食事の後、彼らは山で一夜を過ごした。
創世記	32:2 ヤコブが旅を続けていると、突然、神の御使いたちが現れた。
創世記	32:3 ヤコブは彼らを見たとき、「ここは神の陣営だ」と言い、その場所をマハナ임(二組の陣営)と名付けた。
創世記	32:4 ヤコブは、あらかじめ、セイル地方、すなわちエドムの野にいる兄エサウのもとに使いの者を遣わすことにし、
創世記	32:5 お前たちはわたしの主人エサウにこう言いなさいと命じた。「あなたの僕ヤコブはこう申しております。わたしはラバンのもとに滞在し今日に至りましたが、
創世記	32:7 使いの者はヤコブのところに戻って来て、「兄上のエサウさまのところへ行って参りました。兄上様の方でも、あなたを迎えるため、四百人のお供を連れてこちらへおいでになる途中でございます」と報告した。
創世記	32:8 ヤコブは非常に恐れ、思い悩んだ末、連れてきている人々を、羊、牛、らくだなどと共に二組に分けた。

タイトル(書名)	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：ヤコブ] 章:節 聖句 聖句 〔検索対象総数：200 / 聖句等の総数 33250 〈ヤコブ〉238個〕
創世記	32:10 ヤコブは祈った。「わたしの父アブラハムの神、わたしの父イサクの神、主よ、あなたはわたしにこう言われました。『あなたは生まれ故郷に帰りなさい。わたしはあなたに幸いを与える』と。
創世記	32:14 その夜、ヤコブはそこに野宿して、自分の持ち物の中から兄エサウへの贈り物を選んだ。
創世記	32:19 こう言いなさい。『これは、あなたさまの僕ヤコブのもので、御主人のエサウさまに差し上げる贈り物でございます。ヤコブも後から参ります』と。」
創世記	32:20 ヤコブは、二番目の者にも、三番目の者にも、群れの後について行くすべての者に命じて言った。「エサウに出会ったら、これと同じことを述べ、
創世記	32:21 『あなたさまの僕ヤコブも後から参ります』と言いなさい。』ヤコブは、贈り物を先に行かせて兄をなだめ、その後で顔を合わせれば、恐らく快く迎えてくれるだろうと思ったのである。
創世記	32:22 こうして、贈り物を先に行かせ、ヤコブ自身は、その夜、野営地にとどまった。
創世記	32:23 その夜、ヤコブは起きて、二人の妻と二人の側女、それに十一人の子供を連れてヤボクの渡しを渡った。
創世記	32:25 ヤコブは独り後に残った。そのとき、何者かが夜明けまでヤコブと格闘した。
創世記	32:26 ところが、その人はヤコブに勝てないとき、ヤコブの腿の関節を打ったので、格闘をしているうちに腿の関節がはずれた。
創世記	32:27 「もう去らせてくれ。夜が明けてしまうから」とその人は言ったが、ヤコブは答えた。「いいえ、祝福してくださいるまでは離しません。」
創世記	32:28 「お前の名は何というのか」とその人が尋ね、「ヤコブです」と答えると、
創世記	32:29 その人は言った。「お前の名はもうヤコブではなく、これからはイスラエルと呼ばれる。お前は神と人と闘って勝ったからだ。」
創世記	32:30 「どうか、あなたのお名前を教えてください」とヤコブが尋ねると、「どうして、わたしの名を尋ねるのか」と言って、ヤコブをその場で祝福した。
創世記	32:31 ヤコブは、「わたしは顔と顔とを合わせて神を見てのに、なお生きている」と言って、その場所をペヌエル(神の顔)と名付けた。
創世記	32:32 ヤコブがペヌエルを過ぎたとき、太陽は彼の上に昇った。ヤコブは腿を痛めて足を引きずっていた。
創世記	32:33 こういうわけで、イスラエルの人々は今でも腿の関節の上にある腰の筋を食べない。かの人がヤコブの腿の関節、つまり腰の筋のところを打ったからである。
創世記	33:1 ヤコブが目を上げると、エサウが四百人の者を引き連れて来るのが見えた。ヤコブは子供たちをそれぞれ、レアとラケルと二人の側女とに分け、
創世記	33:3 ヤコブはそれから、先頭に進み出て、兄のもとに着くまでに七度地にひれ伏した。
創世記	33:4 エサウは走って来てヤコブを迎え、抱き締め、首を抱えて口づけし、共に泣いた。
創世記	33:5 やがて、エサウは顔を上げ、女たちや子供たちを見回して尋ねた。「一緒にいるこの人々は誰なのか。」「あなたの僕であるわたしに、神が恵んでくださった子供たちです。」ヤコブが答えると、
創世記	33:8 エサウは尋ねた。「今、わたしが出会ったあの多くの家畜は何のつもりか。」ヤコブが、「御主人様の好意を得るためです」と答えると、

タイトル(書名)	章:節 聖句 聖句 〔検索対象総数：200 / 聖句等の総数 33250 〈ヤコブ〉238個〕 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) 〔検索語彙：ヤコブ〕
創世記	33:10 ヤコブは言った。「いいえ。もし御好意をいただけるのであれば、どうぞ贈り物をお受け取りください。兄上のお顔は、わたしには神の御顔のように見えます。このわたしを温かく迎えてくださったのですから。
創世記	33:11 どうか、持参しました贈り物をお納めください。神がわたしに恵みをお与えになったので、わたしは何でも持っていますから。」ヤコブがしきりに勧めたので、エサウは受け取った。
創世記	33:14 どうか御主人様、僕におかまいなく先にお進みください。わたしは、ここにいる家畜や子供たちの歩みに合わせてゆっくり進み、セイルの御主人様のもとへ参りましょう。」ヤコブがこう答えたので、
創世記	33:17 ヤコブはスコトへ行き、自分の家を建て、家畜の小屋を作った。そこで、その場所の名はスコト(小屋)と呼ばれている。
創世記	33:18 ヤコブはこうして、パダン・アラムから無事にカナン地方にあるシケムの町に着き、町のそばに宿営した。
創世記	33:19 ヤコブは、天幕を張った土地の一部を、シケムの父ハモルの息子たちから百ヶシタで買い取り、
創世記	34:1 あるとき、レアとヤコブとの間に生まれた娘のディナが土地の娘たちに会いに出かけたが、
創世記	34:3 シケムはヤコブの娘ディナに心を奪われ、この若い娘を愛し、言い寄った。
創世記	34:5 ヤコブは、娘のディナが汚れたことを聞いたが、息子たちは家畜を連れて野に出ていたので、彼らが帰るまで黙っていた。
創世記	34:6 シケムの父ハモルがヤコブと話し合うためにやって来たとき、
創世記	34:7 ヤコブの息子たちが野から帰って来てこの事を聞き、皆、互いに嘆き、また激しく憤った。シケムがヤコブの娘と寝て、イスラエルに対して恥ずべきことを行っただけである。それはしてはならないことであった。
創世記	34:13 しかし、シケムが妹のディナを汚したので、ヤコブの息子たちは、シケムとその父ハモルをだましてこう答えた。
創世記	34:19 とくにシケムは、ヤコブの娘を愛していたので、ためらわず実行することにした。彼は、ハモル家の中では最も尊敬されていた。
創世記	34:25 三日目になって、男たちがまだ傷の痛みに苦しんでいたとき、ヤコブの二人の息子、つまりディナの兄のシメオンとレビは、めいめい剣を取って難なく町に入り、男たちをことごとく殺した。
創世記	34:27 ヤコブの息子たちは、倒れている者たちに襲いかかり、更に町中を略奪した。自分たちの妹を汚したからである。
創世記	34:30 「困ったことをしてくれたものだ。わたしはこの土地に住むカナン人やペリジ人の憎まれ者になり、のけ者になってしまった。こちらは少人数なのだから、彼らが集まって攻撃してきたら、わたしも家族も滅ぼされてしまわないか」とヤコブがシメオンとレビに言うとき、
創世記	35:1 神はヤコブに言われた。「さあ、ベテルに上り、そこに住みなさい。そしてその地に、あなたが兄エサウを避けて逃げて行ったとき、あなたに現れた神のための祭壇を造りなさい。」
創世記	35:2 ヤコブは、家族の者や一緒にいるすべての人々に言った。「お前たちが身に着けている外国の神々を取り去り、身を清めて衣服を着替えなさい。
創世記	35:4 人々は、持っていた外国のすべての神々と、着けていた耳飾りをヤコブに渡したので、ヤコブはそれらをシケムの近くににある煙の木の下に埋めた。
創世記	35:5 こうして一同は出発したが、神が周囲の町々を恐れさせたので、ヤコブの息子たちを追跡する者はなかった。
創世記	35:6 ヤコブはやがて、一族の者すべてと共に、カナン地方のルズ、すなわちベテルに着き、

タイトル(書名)	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：ヤコブ] 章:節 聖句 [検索対象総数：200 / 聖句等の総数 33250 〈ヤコブ〉238個]
創世記	35:7 そこに祭壇を築いて、その場所をエル・ベテルと名付けた。兄を避けて逃げて行ったとき、神がそこでヤコブに現れたからである。
創世記	35:9 ヤコブがパダン・アラムから帰って来たとき、神は再びヤコブに現れて彼を祝福された。
創世記	35:10 神は彼に言われた。「あなたの名はヤコブである。しかし、あなたの名はもはやヤコブと呼ばれない。イスラエルがあなたの名となる。」神はこうして、彼をイスラエルと名付けられた。
創世記	35:13 神はヤコブと語られた場所を離れて昇って行かれた。
創世記	35:14 ヤコブは、神が自分と語られた場所に記念碑を立てた。それは石の柱で、彼はその上にびどう酒を注ぎかけ、また油を注いだ。
創世記	35:15 そしてヤコブは、神が自分と語られた場所をベテルと名付けた。
創世記	35:20 ヤコブは、彼女の葬られた所に記念碑を立てた。それは、ラケルの葬りの碑として今でも残っている。
創世記	35:22 ヤコブの息子は十二人であった。
創世記	35:23 レアの息子がヤコブの長男ルベン、それからシメオン、レビ、ユダ、イサカル、ゼブルン、
創世記	35:26 レアの召し使いジルパの息子がガドとアシエルである。これらは、パダン・アラムで生まれたヤコブの息子たちである。
創世記	35:27 ヤコブは、キルヤト・アルバ、すなわちへブロンンのマムレにいる父イサクのところへ行った。そこは、イサクだけでなく、アブラハムも滞在していた所である。
創世記	35:29 イサクは息を引き取り、高齢のうちに満ち足りて死に、先祖の列に加えられた。息子のエサウとヤコブが彼を葬った。
創世記	36:6 エサウは、妻、息子、娘、家で働くすべての人々、家畜の群れ、すべての動物を連れ、カナンの土地で手に入れた全財産を携え、弟ヤコブのところから離れてほかの土地へ出て行った。
創世記	37:1 ヤコブは、父がかつて滞在していたカナン地方に住んでいた。
創世記	37:2 ヤコブの家族の由来は次のとおりである。ヨセフは十七歳のとき、兄たちと羊の群れを飼っていた。まだ若く、父の側女ビルハやジルパの子供たちと一緒にいた。ヨセフは兄たちのことを父に告げ口した。
創世記	37:34 ヤコブは自分の衣を引き裂き、粗布を腰にまとい、幾日もその子のために嘆き悲しんだ。
創世記	37:35 息子や娘たちが皆やって来て、慰めようとしたが、ヤコブは慰められることを拒んだ。「ああ、わたしもあの子のところへ、嘆きながら陰府へ下って行こう。」父はこう言って、ヨセフのために泣いた。
創世記	42:1 ヤコブは、エジプトに穀物があると知って、息子たちに、「どうしてお前たちは顔を見合わせてばかりいるのだ」と言い、更に、
創世記	42:4 ヤコブはヨセフの弟ベニヤミンを兄たちに同行させなかった。何か不幸なことが彼の身に起こるといけないと思ったからであった。
創世記	42:29 一行はカナン地方にいる父ヤコブのところへ帰って来て、自分たちの身に起こったことをすべて報告した。
創世記	42:36 父ヤコブは息子たちに言った。「お前たちは、わたしから次々と子供を奪ってしまった。ヨセフを失い、シメオンも失った。その上ベニヤミンまでも取り上げるのか。みんなわたしを苦しめることばかりだ。」

タイトル(書名)	章:節 聖句 聖句 〔検索対象総数：200 / 聖句等の総数 33250 〈ヤコブ〉238個〕 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) 〔検索語彙：ヤコブ〕
創世記	42:38 しかし、ヤコブは言った。「いや、この子だけは、お前たちと一緒に行かせるわけにはいかぬ。この子の兄は死んでしまい、残っているのは、この子だけではないか。お前たちの旅の途中で、何か不幸なことがこの子の身に起こりでもしたら、お前たちは、この白髪の父を、悲嘆のうちに陰府に下らせることになるのだ。」
創世記	45:25 兄弟たちはエジプトからカナン地方へ上って行き、父ヤコブのもとへ帰ると、
創世記	45:27 彼らはヨセフが話したとおりのことを、残らず父に語り、ヨセフが父を乗せるために遣わした馬車を見せた。父ヤコブは元氣を取り戻した。
創世記	46:2 その夜、幻の中で神がイスラエルに、「ヤコブ、ヤコブ」と呼びかけた。彼が、「はい」と答えると、
創世記	46:5 ヤコブはベエル・シェバを出発した。イスラエルの息子たちは、ファラオが遣わした馬車に父ヤコブと子供や妻たちを乗せた。
創世記	46:6 ヤコブとその子孫は皆、カナン地方で得た家畜や財産を携えてエジプトへ向かった。
創世記	46:7 こうしてヤコブは、息子や孫、娘や孫娘など、子孫を皆連れてエジプトへ行った。
創世記	46:8 エジプトへ行ったイスラエルの人々、すなわちヤコブとその子らの名前は次のとおりである。ヤコブの長男ルベン。
創世記	46:15 これらは、レアがパダン・アラムでヤコブとの間に産んだ子らである。ヤコブの娘ディナも含め、男女の総数は三十三名である。
創世記	46:18 これらは、ラバンが娘レアに与えたジルパの子らである。ジルバがヤコブとの間に産んだのは十六名である。
創世記	46:19 ヤコブの妻ラケルの息子のヨセフ、ベニヤミン。
創世記	46:22 これらは、ヤコブとの間に生まれたラケルの子らで、その総数は十四名である。
創世記	46:25 これらは、ラバンが娘ラケルに与えたビルハの子らである。ビルハがヤコブとの間に産んだ者の総数は七名である。
創世記	46:26 ヤコブの腰から出た者で、ヤコブと共にエジプトへ行った者は、ヤコブの息子の妻たちを除けば、総数六十六名である。
創世記	46:27 エジプトで生まれたヨセフの息子は二人である。従って、エジプトへ行ったヤコブの家族は総数七十名であった。
創世記	46:28 ヤコブは、ヨセフをゴシエンに連れて来るために、ユダを一足先にヨセフのところへ遣わした。そして一行はゴシエンの地に到着した。
創世記	47:7 それから、ヨセフは父ヤコブを連れて来て、ファラオの前に立たせた。ヤコブはファラオに祝福の言葉を述べた。
創世記	47:8 ファラオが、「あなたは何歳におなりですか」とヤコブに語りかけると、
創世記	47:9 ヤコブはファラオに答えた。「わたしの旅路の年月は百三十年です。わたしの生涯の年月は短く、苦しみ多く、わたしの先祖たちの生涯や旅路の年月には及びません。」
創世記	47:10 ヤコブは、別れの挨拶をして、ファラオの前から退出した。
創世記	47:28 ヤコブは、エジプトの国で十七年生きた。ヤコブの生涯は百四十七年であった。

タイトル(書名)	章:節 聖句 聖句 〔検索対象総数：200 / 聖句等の総数 33250 〈ヤコブ〉238個 〕 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) 〔検索語彙：ヤコブ〕
創世記	48:2 ある人がヤコブに、「御子息のヨセフさまが、ただいまお見えになりました」と知らせると、イスラエルは力を奮い起こして、寝台の上に座った。
創世記	48:3 ヤコブはヨセフに言った。「全能の神がカナン地方のルズでわたしに現れて、わたしを祝福してください、と
創世記	49:1 ヤコブは息子たちを呼び寄せて言った。「集まりなさい。わたしは後の日にお前たちに起こることを語っておきたい。
創世記	49:2 ヤコブの息子たちよ、集まって耳を傾けよ。お前たちの父イスラエルに耳を傾けよ。
創世記	49:7 呪われよ、彼らの怒りは激しく／憤りは甚だしいゆえに。わたしは彼らをヤコブの間に分け／イスラエルの間に散らす。
創世記	49:24 しかし、彼の弓はたるむことなく／彼の腕と手は素早く動く。ヤコブの勇者の御手により／それによって、イスラエルの石となり牧者となった。
創世記	49:29 ヤコブは息子たちに命じた。「間もなくわたしは、先祖の列に加えられる。わたしをヘト人エフロンの畑にある洞穴に、先祖たちと共に葬ってほしい。
創世記	49:33 ヤコブは、息子たちに命じ終えると、寢床の上に足をそろえ、息を引き取り、先祖の列に加えられた。
創世記	50:12 それから、ヤコブの息子たちは父に命じられたとおりに行った。
創世記	50:13 すなわち、ヤコブの息子たちは、父のなきがらをカナンの土地に運び、マクベラの畑の洞穴に葬った。それは、アブラハムがマムレの前にある畑とともにヘト人エフロンから買い取り、墓地として所有するようになったものである。
創世記	50:24 ヨセフは兄弟たちに言った。「わたしは間もなく死にます。しかし、神は必ずあなたたちを顧みてくださり、この国からアブラハム、イサク、ヤコブに誓われた土地に導き上ってくださいます。」